「豊かな心をもち 確かな学力を身に付け たくましく生きようとする児童の育成」



∞川上小学校だより

真庭市立川上小学校校長室から(文責:林咲子)令和7年度第9号 2025/9/2

2学期スタート!

始業式の様子

夏休み中は大きな事故やけが・病気の報告もなく、有意 義で充実した休みを過ごすことができたようで安心しました。さあ、2 学期のスタートです。今学期も「おたがいさまだよ 助け合っていこう!」のキャッチフレーズのもと、みんなでお互いに高め合っていきましょう。

「授業」のイメージ

保護者の皆さんが描いている授業の様子は、「教師が質問し、児童が挙手し、指名されて発表する。それを繰り返す。」そんな感じではないでしょうか?

令和の日本型教育は、

「自ら問いを見つけ、その教科の特性に合わせた考え方を使って課題解決方法を選択し、時には個のペースで、時には多様な人々と協働しながら学びを深めていく。」ということが主流となっています。

教師主導で一斉に教え込む授業ではなく、<mark>学習者に学び方を委ねる</mark>場面を 創っています。

そこで大切なのが、「わからない」「ん?それどういうこと?」「なんでそうなった?」というような個々の「気づき」です。<mark>「わからない」と言えることこそが学びの基盤</mark>になってきます。それをみんなで解決していくのです。主体が児童ですから理想としては、<mark>発話量「児童>教師」</mark>となります。

時には一人で熟考したり、ペアやグループで話したり、時には挙手や指名無しで、児童同士で、タブレットで、ノートで、辞書で、席を離れて…。など、多様な授業風景が展開されます。

本校でも、児童の「わかりたい」気持ちを学習に向かわせ支援して、<mark>児童自身の力で解決できた!と感じられるような授業づくりをめざしていきま</mark>す。参観日の時などに授業を観る視点として参考にしてください。

R7 キャッチフレーズ「おたがいさまだよ 助け合っていこう!」





がんばったね! 受賞・表彰紹介 (学年・敬称略)

シリゲ作品展

【入選】

真田 莉未 原田 奈奈 吉澤里乃歩

筒井 百恵 松岡 芽依

梶本 栞那

川戸 はる 宮尾 結衣

山乗夏七乃

※今後も随時紹介していきます。

全国学力・学習状況調査の結果から



4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果が返ってきています。これが学力のすべてを表すものではありませんが、川上小学校の様子をお伝えします。

全国(6 年生対象) 学力調査平均点			
	国語	算数	理科
川上小	70	63	61
真庭市	65	56	57
岡山県	67	56	57
全 国	66. 8	58	57. 1

※川上小6年生は、「国語」「算数」「理科」いずれも市・県・全国の平均を上回っています。特に、無回答は I つもありませんでした。記述問題にも、児童がねばり強く立ち向かった結果だと考えます。今後も、学力定着に向けて、読み解く力を大切にしながら学習を進めて参ります。

全国(6年生対象)学習状況調査で、肯定評価100%だった項目

- ○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、 新たな考え方に気付いたりすることができていますか。
- ○授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。
- ○授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生か したりすることができると思いますか。

※<u>友達と関わり合いながら学習していることがよく</u>わかり、協力もできています。また、<u>今学習していることは実生活や将来に結びついている</u>ということも意識できています。

